

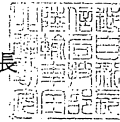


北信技第1019号  
平成17年12月16日

東急車輛製造株式会社取締役特装自動車事業部長 殿

北陸信越運輸局自動車技術安全部長

改造概要等説明書(改造自動車審査結果通知書)



【指示事項】

1. 本試作は製造番号TF36H1C3S-G112の1台限りとする。

2. けん引車については、次により検討した。

車名 三菱 型式 KL-FV50LHR (第5輪荷重18.0t)、車名 三菱 型式 KL-FV50LHR (第5輪荷重16.0t)

車名 いすゞ 型式 KL-EX252J3 (第5輪荷重16.0t)

3. 道路運送車両の保安基準第4条(車両総重量)について緩和認定を要する。

主要諸元比較表

(試作車・組立車)

項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準
車名		東急		乗車定員人			
型式		TF36H1C3S		最大積載量 kg		27000	
自動車の種別		普通		車両 総重量 kg	前前軸重	11910	
用途		貨物			後前軸重	8025	≤10t
車体の形状		セミトレーラ			後中軸重	8020	≤10t
燃料の種類					後後軸重	8025	≤10t
原動機型式				計	35980		
総排気量 ℓ				最大安定	右	46° ※	一般≥35°
長さ m		12.140(11.200)	≤12m	傾斜角度°	左	46° ※	その他≥30°
幅 m		2.490	≤2.5m	前前軸			
高さ m		2.610	≤3.8m	後前軸	11R22.5-14PR		
軸距 m	轴距	6.870+1.320 +1.320+9.510		後中軸	11R22.5-14PR		
	後前軸	1.850		後後軸	11R22.5-14PR		
	前後軸			積車時 前後軸			
室内又は 荷台の内 側の寸法	長さ m	12.000		タイヤ 後前軸	80.3		
	幅 m	2.490		荷重割合 後中軸	80.2		
	高さ m			% 後後軸	80.3		
車両重量 kg	前前軸重	2050		積車時前輪荷重割合%			≥18.20%
	後前軸重	2310		リヤ・オーバーハング m	1.690		≤1/2, 11/20, 2/3L
	後中軸重	2310		荷台オフセット m	2.990		
	後後軸重	2310		最小回転半径 m	10.2 ※		≤12m
計	8980						

能力強度等検討書

制動能力	踏力	N 60 km/h 39 m	車軸強度	$\sigma_b/\sigma$ 58.12 / 7.044 × 2.5 = 3.30 > 1.6
	空気圧	637 kpa	車軸強度	東急 TF50H4C3型 セミトレーラと同一
			操縦装置強度	$\sigma_b/\sigma$ - / - = - > 1.6
			緩衝装置強度	東急 TF50H4C3型 セミトレーラと同一
推進軸	回転数 No/N	- / - = -	制動装置強度	東急 TF50H4C3型 セミトレーラと同一
強度	T <sub>BT</sub> /T	- / - = -	連結装置強度	東急 TF50H4C3型 セミトレーラと同一

注1: 能力検討欄は、該当しないものは、省略したものは×を記入すること。

注2: ※印は、三菱 KL-FV50LHR 型 トラクタとの連結時の計算値を示す。

構造等の概要

目的	分割可能な貨物の安全輸送をはかるため、(船底型)セミトレーラとして新たに製作されるものである。
車枠及び車体	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスメンバーとは電気溶接で組み立てられ、前部下面にキングピンを、後部に車軸装置を取り付けている。 突入防止装置は既届出済みの1QAを取り付ける。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東急TF50H4C3型セミトレーラと同一。(12自審第104号 新型自動車第16884号) 車軸は高張力鋼で、中空角型断面チューブの両端にスピンドルを溶接した構造を有する。
操縦装置	
制動装置	東急TF50H4C3型セミトレーラと同一。(12自審第104号 新型自動車第16884号) (主ブレーキ) 気圧内部拡張式 (駐車ブレーキ) スプリング式 ABS装置一式
緩衝装置	東急TF50H4C3型セミトレーラと同一。(12自審第104号 新型自動車第16884号) イコライザ付きトリプルスプリングサスペンションの半だ円板ばね型である。 但し、ばねは東急TF28H8C21型セミトレーラと同一。(11自審第1587号 新型自動車第17005号)
連結装置	東急TF50H4C3型セミトレーラと同一。(12自審第104号 新型自動車第16884号) 第5輪方式 JIS-D-6602に準じて製作してある。
燃料装置	

注 該当する事項が無い場合については、斜線で記入する事

Y39751